

# 平塚市ごみ通信

## 回 覧

第 6 号


平成24年7月1日発行


発行 平塚市 環境部 資源循環課（平塚市浅間町9-1）  
TEL：0463-21-9763（直通） FAX：0463-21-9603

（平塚市のホームページでも掲載しています）<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shigen-j/gomi-top.htm>

## ごみを減らして夏を乗り切ろう

夏は電力消費量が多くなるとともに、暑い季節はごみの水分が多くなり、缶やペットボトルなども増えてきます。平塚市のごみ処理施設では「平塚市節電対策方針」に基づき節電を行いながら、ごみの処理をしています。ごみが減ればごみ処理施設は効率的な稼働をすることができます。今年の夏は次のような取り組みでごみの削減・減量をお願いします。

- ① 3Rの徹底を  例えは
- ・リデュース（ごみの発生抑制） → 水筒などを使う  
→ マイバッグを利用する
  - ・リユース（再使用） → リターナブルびんの使用
  - ・リサイクル（再資源化） → 再生紙の利用  
→ 分別収集への協力

- ② 分別はきちんと行う 

### 燃せるごみの種類組成

【22年度】

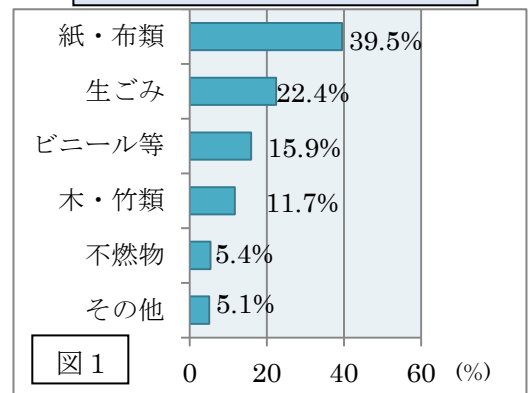


図1

図1は平塚市環境事業センターに搬入された燃せるごみの内訳です。紙・布類が燃せるごみとして多く出されています。資源としてリサイクルできる紙・布類を分別し資源再生物へ排出してください。

## 募 集

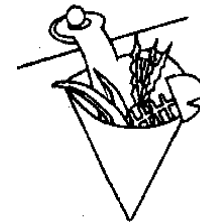
# 生ごみ減量大作戦

## 生ごみの水切りでごみを減らそう



「生ごみの減量宣言」を行った市民の方に、水切りを配布します！数量限定の配布となります。

- ◆対象：平塚市在住の方
- ◆配布数：1世帯1個（先着500名）
- ◆申込方法：水切り宣言書を資源循環課へ提出（郵送・電子メール・持参可）
- ◆配布：①資源循環課へ直接提出後、その場でお渡しします。  
②メール・郵送の場合は宣言文が到達した後、郵送します。
- ◆問い合わせ：平塚市役所 資源循環課（21-9763）



生ゴミ  
入れに！



野菜の水切りに！

※宣言文は資源循環課・地区公民館で配布する他、平塚市ホームページからもダウンロードできます。

★宣言を行った方を対象に、アンケートへのご協力をお願いする予定です。

# 生ごみ減量の3ステップ

夏は生ごみが多くなる季節。生ごみは水分を多く含んでいます。最後にギュッとひと絞りしましょう。

## STEP1 料理に一工夫

料理を行う際はなるべく生ごみを出さないように工夫してみましょう。余った野菜などで一品作ってみるのも立派なエコ！  
お買い物でも**必要な食材を必要な分だけ買う**、これも生ごみを減らす第一歩です。

～野菜の皮をキンピラに～

大根・人参・レンコンなどの野菜は厚めに皮をむいて、皮を千切りにしてキンピラにしてみませんか♪



### 豆知識

燃せるごみの  
約50%は**水分**です！

びっくり！



## STEP2 水切り

生ごみが出てしまった際、水切りをしっかりとすればごみの量や臭いも少なくなります。

～水切りにもひと工夫～

- ① 水に浸けない、濡らさない。
- ② 水切りネットや三角コーナーなどを利用し生ごみの水を切りましょう。
- ③ 捨てる前に天日に干して乾燥させてみましょう。  
生ごみの量はグッと減ります。



## STEP3 たい肥化

生ごみとして捨てる前にまだ行えることがあります。生ごみはたい肥に変身します。

～平塚市で助成しています～

◆コンポスター（¥1,000～¥1300）  
リサイクルプラザ(51-5301)または、  
環境業務課(21-8796)で販売。



◆電動生ごみ処理機  
本体価格の半分を助成。(助成限度 3万円)  
詳しくは、資源循環課(21-9763)へ。

## 一般家庭での生ごみ自家処理推進事業

生ごみを自家処理してたい肥を生成する等の様々な方法を学びます。  
生ごみの自家処理を実践し、ごみの減量化、資源化に努めませんか！

◆日時（時間は全て10時から12時）

7月11日（水）、15日（日）・・プランター法、EM菌法、発泡スチロール法  
9月5日（水）、9日（日）・・段ボール法、バチルス菌法、電動生ごみ処理機法

◆会場

ひらつか市民活動センター 住所：平塚市八重咲町3-3 JAかながわ2F

◆申込方法

開催日の5日前までに資源循環課（21-9763）へ申込。

希望の講座のみ参加することができます。申込者が多い場合は抽選になる場合もあります。

